



# 佐土原ロータリークラブ週報



**会 長**：佐藤 高元      **幹 事**：太田 忍  
**副 会 長**：梶田與之助      **会報委員長**：林 厚雄  
**会 計**：村岡 博  
**事 務 局**：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18  
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877  
 携帯：090-9596-6114 吉野由里子  
**例 会 日**：毎週水曜日  
**例 会 場**：ハイビスカス ゴルフクラブ  
 TEL：0985-73-0109

6月6日プログラム予定・・・次年度活動方針  
 6月13日プログラム予定・・・大迫ガバナー補佐訪問

第976回 平成19年5月30日（水）

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
  - 2. ロータリーソング  
「我らの生業」
  - 3. 会 長 の 時 間
  - 4. 幹 事 報 告
  - 5. 次 年 度 活 動 方 針
  - 6. 点 鐘

## クラブ協議会

クラブ協議会は、会長がクラブ役員、会員、委員に情報を伝達することを目的として年度中色々な折に開催しています。クラブ協議会を通して会長は各委員会のプログラム計画の進展状況を把握したり、どうすれば効果的に奉仕活動にすることが出来るかについて意見を交換し意欲を盛り上げる機会にもなります。したがって、クラブ協議会を計画、実施するのはクラブ会長の責務と言えます。

## クラブ協議会の定義

- ★ クラブ協議会は、クラブの主要な計画作りと相談をするための組織会合です。
- ★ クラブのプログラムと活動あるいは教育を目的に討議するために開くものです。
- ★ 主要指導者による報告が主要です。
- ★ クラブ全体として向き合う問題に焦点を当てます。

## クラブ協議会の計画

年度のプログラム予定表に4回～6回のクラブ協議会を開くことが推奨されています。一般的には年間6回のクラブ協議会が一番多いようです。クラブによっては開催日が異なる場合がありますが、以下のような予定が一般的で、

- (1) 地区協議会の直後  
地区協議会で作成され提案された計画をはじめどのようにクラブはRIのテーマと強調事項を組み入れるかについて説明し、検討を行い討議する
- (2) 7月1日後  
年度計画について話し合い年間計画を採択する。

「裏へ続く・・・」

第975回の記録      平成19年5月23日  
 ★ 会長の時間      佐藤 高元 君  
 みなさん今日は、2007～2008年度の地区協議会は、平成19年5月20日（日）延岡市、九州保険大学において行われました。佐土原クラブから参加された13名の皆さんも朝早く出発しての1日研修でしたからお疲れになったことと思います。地区協議会の意義や内容については十分ご存知の通りですがもう一度再確認をして、今後のクラブ運営に役立てて行きたいと思います。

今、一番大事なことは地区協議会で得た情報を、クラブ全体で理解し次年度のクラブ奉仕プログラムに役立て、ロータリーの奉仕活動が継続し発展する契機にしなければならないと言う事です。

そのためには、地区協議会の内容をクラブ協議会においてしっかり受け止めることが必要です。年間のクラブプログラム予定に計画されているクラブ協議会(5月30日)が充実した内容になるように、クラブ会長エレクトは主催して実施することになります。

採択する。

- (3) 公式訪問の2週間前。  
公式訪問の準備を行う。
- (4) 公式訪問中。  
ガバナー補佐と地区ガバナーとクラブの現状について話しあう。
- (5) ロータリー年度の中間  
目標への進展状況と年度後半のクラブプログラムの決定をする。
- (6) 地区大会後  
クラブの計画を完了させるためのアイデアや提案について話しあう。佐土原ロータリー・クラブの年間プログラム予定表でも、年間5回のクラブ協議会が計画されています。その中で5月30日が(1)の地区協議会直後のクラブ協議会にあたります。会長エレクト主催のもと、地区協議会出席の情報をもとに話し合い会員の教育の場となり次年度の奉仕活動への関心を喚起することが出来ます。

★地区協議会報告 会長エレクト  
梶田 與之助 君



協議会内容や、次年度に向けての、計画案等を報告していただきました。

「友」インターネット速報 NO285  
ドイツとスイスのロータリアン、  
地雷被害者に援助

国連によると、地雷による死傷者が毎年1万5千~2万人も出ています。その被害者の5分の1以上が子どもたちであり、アフガニスタン、カンボジア、アンゴラ、イラクでの被害が際立っています。

地面に埋められている地雷やそのほかの兵器の数はアフガニスタンだけでも1,000万とも見積もられています。そこで地雷問題に取り組もうとスイスとドイツのロータリアンが、プロジェクトを立ち上げ、地雷被害者への支援、世界的な武器使用禁止を呼びかける活動を始めました。

このプロジェクトは、国際赤十字の外科医として1990年代にアフリカ・アジアで活動していたスイスのロータリアン、ハンス・スティルネマン氏の呼びかけによるもので、1997年から、赤十字国際委員会とともに、地雷で負傷した何千もの人に義足や義手をつけたり、地元での技術者を育てています。技術者の中には、手や足をなくしてしまった人が多くいます。スイスのロータリアンが、カンボジアで、ドイツのロータリアンはグルジアおよび中央アジアで活動しています。



地雷被害者の撤去作業員 (デイマイナー)

☆ハッピーメッセージ☆

5月30日で50歳になります。  
祝っていただき、有難うございます。

藤堂 真由美



~ MEMO ~

.....

.....

.....

.....

.....

出席状況 第972回 平成19年4月25日

会員数	31名	欠席者数	5名
出席者数	26名	メイクアップ	2名
出席率	83.0%	修正出席率	90.0%

言動はこれに照らしてから

■ 四つのテスト

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか